



日本共産党平戸市議会議員

山崎かずひろの市議会だより

2012年7月

ご意見・ご相談をお知らせください
山崎議員は当選以来、毎回の議会で一般質問を行い、「議会報告」(ピラ)も7000世帯に配布しています。日本共産党や山崎議員へのご意見・ご相談など、なんでもお寄せください。
なお、山崎議員の「ブログ」をご覧ください。週2、3回更新しています。

ブログ「平戸日誌」 [検索](#)

住所：平戸市岩の上町214-1 ☎・FAX：0950-23-8021 携帯：080-1002-2248 メール：yk1922@wind.ocn.ne.jp

市の歳出、道路や施設の建設費が急増

市の文書も、このままでは「第二の財政危機」と指摘



工事中の市道亀岡循環線

な原因は投資的経費の増加です。人口一人当たりでは県内他市の二倍です。

投資的経費は白濱市長時代、年間三十億円台でしたが黒田市長になってから四十億円をこえ、今年度は五十億円をこえたことが、山崎議員の調査

で明らかになりました。投資的経費には、市道亀岡循環線の改修や情報センター(図書館、北部公民館)の建設などが含まれます。亀岡循環線は平戸文化センターから海岸沿いに猶興館高校までの四百五十メートルの改修。工事費は八億七千万円、市負担は一億円です。海面から道路までを山の自然石で作るため、八億七千万円かかります。多くの人から「交通量

の少ない亀岡循環線の改修に八億七千万円もかけるのは問題」という声が上がっています。山崎議員は早急に道路や施設建設の見直しを行うべきだ、と質問しました。黒田市長は「市民生活の向上のための施策の充実を図る」と答弁しました。

山崎議員は亀岡循環線の改修費を含む予算案に反対しました。他の議員は、みなさん賛成でした。

金は実質五十七億円と予想しています。

市文書には以下の三点も書かれています。

①人口減少にもかかわらず、財政規模が増加。

人口規模に合った歳出規模が求められる

②投資的経費(道路や施設の建設費)の抑制も必要

③第二の財政危機に陥る可能性が高い

市自身の分析にもかかわらず、予算は合併後最大を続けています。大き

6月市議会。山崎議員は税金の使い方の見直しなどを求めました。昨年十一月に市が出した財政の文書には、市の借金は、残高二百九十一億円、国からの補填があるため実質は七十七億円とあります(平成二十二年度末)。

そして、平成三十三年度には基金(貯金)がなくなり、単年度でも赤字になる、その時点での借

オランダ商館の障がい者用駐車場が改善されます



オランダ商館の障がい者用駐車場

オランダ商館の障がい者用駐車場(車いす駐車場)の危険を減らすための工事が行われます。

山崎議員に大久保町の人から「駐車場が道路のカーブ(常灯の鼻のカーブ)しているところがあり、危険。二、三台の車が、道路に、はみ出て止めてあることもある。改善してほしい」という声

が寄せられました。山崎議員の質問に教育次長は「文化財の保護と景観上の関係から別の場所への移動はできない。補助カーブミラーや危険表示の看板設置などを検討したい」と答弁しました。七月に入って、ミラーや看板の設置などが正式に決まりました。ただちに工事を始める、とのこと。このピラをお届けする頃には、工事は完了しているかもしれません。